

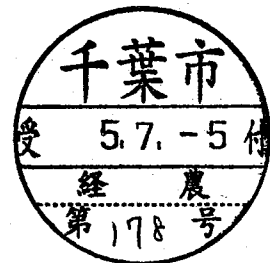
令和5年7月5日

千葉市長 神 谷 俊 一 様

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
会長 鈴 木 雅 之

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和5年5月25日付け5千経経第47号で、千葉市長から諮問のありました標記の件について、別紙の農政部会からの報告のとおり答申します。





令和5年7月5日

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
会長 鈴木雅之 様

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
農政部会

部会長

鈴木雅之

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

令和5年5月25日付け5千経第47号で、千葉市長から諮問のありました標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

1 公の施設の指定管理者の評価について

(1) 中田やつ耕園（千葉市中田都市農業交流センター）（議決日 令和5年7月5日）

ア 年度評価

- ・施設運営業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・利用者へのアンケート結果では、従業員の対応が高く評価されているほか、市民農園の契約区画数も昨年度より増加していることは高く評価できる。
- ・自主事業については、農園利用者のニーズに沿った農業資機材の提供や栽培講習会の実施のほか、市民対象の収穫体験などを実施し参加者から好評だったことから、市民農園の活性化とPRに繋がっていると評価できる。
- ・今後も引き続き、契約区画数や利用者満足度の更なる向上を図る取組を実施するとともに、継続的なPR活動を行っていただきたい。
- ・なお、水はけが悪い区画については、昨年度の検討結果に基づき、必要な対策を順次実施していただきたい。

(2) 富田さとにわ耕園（千葉市富田都市農業交流センター）（議決日 令和5年7月5日）

ア 年度評価

- ・適正な事業運営が行われており、施設運営業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・植栽維持管理業務については、年間を通じて花を楽しめ、快適に回遊できる場となるよう、シバザクラやコスモスなど季節の花々の管理や環境整備を適切に行っていることが

目標を上回る来場者の維持に繋がっていると高く評価できる。

- ・研修室の稼働率は、昨年度と比較して向上しており評価できるが、目標達成には至っていない。引き続き、農業団体をはじめ、様々な利用団体への利用機会増に向けた呼びかけのほか、各種イベントやワーケーション等での利用に繋がるよう、積極的なPR活動を行っていただきたい。

(3) 下田農業ふれあい館（千葉市下田都市農業交流センター）（議決日 令和5年7月5日）

ア 年度評価

- ・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・自主事業の収支が赤字となっており、その原因を早急に分析するとともに、収入を増やすための取組の検討と経費の見直しを早急に実行することが必須である。事業運営に当たっては、直近の運営実績を踏まえ、収支の適切なバランスに十分留意して取り組まれない。
- ・経営改善に向けた取組として、直売所については、これまでの店外販売など様々な営業努力により、千葉市産の農産物の流通に寄与していることは評価できる。ただし、利用客・売上額が減少していることから、店頭の品揃えの充実等による魅力ある直売所づくりに努めるとともに、立地を活かした周辺施設との連携や店外イベントなど、SNSでの積極的な情報発信も含め、利用客の増加に繋がる取組を講じられたい。
- ・また、レストランについては、弁当・総菜の販売継続やバイキングデーの開始などにより増収となったことは評価できる。今後も弁当販売の一層の強化や、積極的なイベント出店等により、利用客の増加を図られたい。

(4) 千葉市ふるさと農園（議決日 令和5年7月5日）

ア 年度評価

- ・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・利用者満足度が数値目標を上回るとともに、諸室利用者数は数値目標に対して達成率が約93.4%に上昇しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮すると、市が指定管理者に求める水準等に概ね即した、良好な管理運営が行われていると評価できる。
- ・ただし、収支の改善が必要な状況が継続していることから、その原因を分析し、自主事業の効率化等の改善を図るとともに、市の関係部局等と連携して施設の魅力を高めるなど、来場者数の増加に繋がるよう創意工夫を凝らして取り組まれない。

イ 総合評価

- ・指定管理期間中は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、概ね事業計画どおりに施設維持管理業務が行われていると判断できる。
- ・数値目標については、諸室利用者数は初年度以外に目標を達成していないものの上昇傾向にあり、利用者満足度は継続的に目標を達成していることから、概ね良好な管理運営が行われたと評価できる。
- ・自主事業については、近隣の福祉事業所等の製品を販売するなどの地域連携や、市内農

産物を中心とした直売や季節の催しによる集客などによって、賑わいを創出したことは評価できる。一方で、収支が毎年大幅な赤字となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しても、事業計画に問題があったと考えられる。

- ・総じて、施設全体の利用者数は上昇傾向にあり、利用者満足度は継続的に目標達成していることから、地域住民のいこいの場として親しまれていることは評価できる。一方で、利用者アンケートにおける利用者層や利用目的等の状況を踏まえ、農林業の振興に寄与できる本施設の特性を十分発揮するため、農林業の振興に軸足を置いた取組を検討・実施する必要がある。
- ・なお、次期指定管理者については、適正な事業計画を提案している申請者を選定することが必要と考える。

